

鈴鹿病院 看護教育の概要

鈴鹿病院の求める看護師像

すべての患者の生活そのものを患者の視点に立って考え、他者を尊重しつつディスカッションし、根拠に基づいた専門的知識・技術、看護実践能力を最大限発揮しつつケアすることに喜びを感じられる看護師

看護部教育目的

鈴鹿病院並びに看護部の理念に基づき、患者の生活の質を高め、専門的な看護を提供できる看護職員を育成する。さらに、各職員が主体的に自己啓発を行い、キャリア開発につなげるよう支援する。

院内看護教育の目標

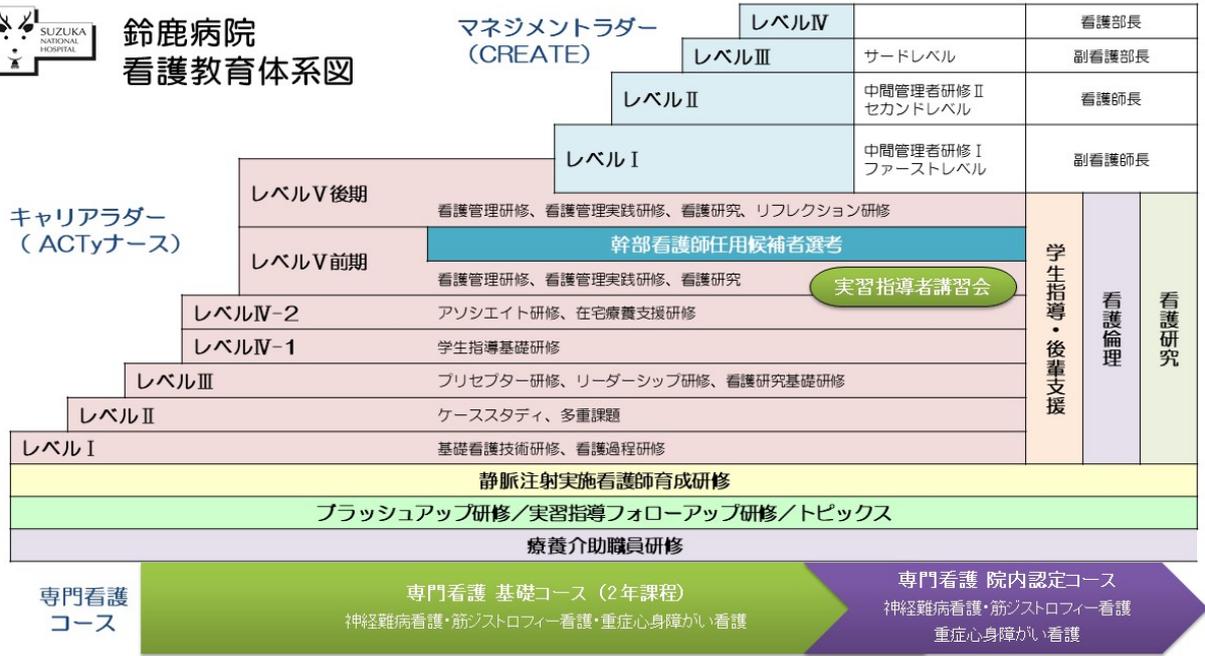
1. 専門職業人としての自覚を持ち、責任ある行動がとれる。
2. チームの一員としての立場を認識し、役割を果たすことができる。
3. 看護の能力を高め、対象にあった質の高い専門的な看護が実践できる。
4. 自ら学ぶ姿勢を養い、個々のキャリア開発につなげることができる。

院内看護教育プログラムの概要

国立病院機構では、「高い倫理観に基づいて、理論と技術を持って、実践し、看護を創造する」看護師（ACTy ナース）を育成するため、看護職員能力開発プログラム（キャリアラダー）が策定されています。当院では、国立病院機構のキャリアラダーシステムに加えて、キャリアラダーレベルⅢ以上の看護師を対象に、神経難病看護・筋ジストロフィー看護・重症心身障がい看護の3つの専門看護基礎コースを受講できる教育プログラムを構築し、看護の質の向上に取り組んでいます。専門看護基礎コース修了者は、専門看護院内認定コースに進むことができます。



鈴鹿病院 看護教育体系図



2022年4月改訂

研修風景

